



宇都宮

会議所ニュース

56.11.1

発行所

宇都宮商工会議所
宇都宮市中央3-1-4
〒320 ☎ 37-3131
編集者 橋本邦男
発行人 印刷所 三共印刷宇都宮市的人口 383,246人
当会議所会員数 5,410人

△卸売業
取益が上昇傾向にあり、回復の兆しがみえる。
まず売上は「増加」が前期より9.5%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。
収益は「好転」が前期より13.9%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。

△小売業
依然格差あり
業界格差はあるものの、回復の兆しがみえる。

売上は「増加」が前期より11.9%と概ね順調であった。

資本繰りは「悪化」が「好転」を上回っており、依然苦しいよう

減少、過剰感は強い。

一方金融は、「不变」とした企

業が長期で84.2%、「減少」

9.5%増えて34.7%、「減少」

1.2%減つて31.3%とな

り、「増加」が「減少」を3.4%

%上回った。

これぞ業種別みると、飲食料

品は好調で、医薬・化粧品が不況

であり、他は前期同様であった。

収益は「悪化」が前期より12.4%減少して31.3%と、好

転含みの推移を示した。

また、販売価格は「上昇」が、

△卸売業
取益が上昇傾向にあり、回復の兆しがみえる。

まず売上は「増加」が前期より13.9%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。

△小売業
依然格差あり
業界格差はあるものの、回復の兆しがみえる。

売上は「増加」が前期より11.9%と概ね順調であった。

資本繰りは「悪化」が「好転」を上回っており、依然苦しいよう

減少、過剰感は強い。

一方金融は、「不变」とした企

業が長期で84.2%、「減少」

9.5%増えて34.7%、「減少」

1.2%減つて31.3%とな

り、「増加」が「減少」を3.4%

%上回った。

これぞ業種別みると、飲食料

品は好調で、医薬・化粧品が不況

であり、他は前期同様であった。

収益は「悪化」が前期より12.4%減少して31.3%と、好

転含みの推移を示した。

また、販売価格は「上昇」が、

△卸売業
取益が上昇傾向にあり、回復の兆しがみえる。

まず売上は「増加」が前期より13.9%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。

△小売業
依然格差あり
業界格差はあるものの、回復の兆しがみえる。

売上は「増加」が前期より11.9%と概ね順調であった。

資本繰りは「悪化」が「好転」を上回っており、依然苦しいよう

減少、過剰感は強い。

一方金融は、「不变」とした企

業が長期で84.2%、「減少」

9.5%増えて34.7%、「減少」

1.2%減つて31.3%とな

り、「増加」が「減少」を3.4%

%上回った。

これぞ業種別みると、飲食料

品は好調で、医薬・化粧品が不況

であり、他は前期同様であった。

収益は「悪化」が前期より12.4%減少して31.3%と、好

転含みの推移を示した。

また、販売価格は「上昇」が、

△卸売業
取益が上昇傾向にあり、回復の兆しがみえる。

まず売上は「増加」が前期より13.9%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。

△小売業
依然格差あり
業界格差はあるものの、回復の兆しがみえる。

売上は「増加」が前期より11.9%と概ね順調であった。

資本繰りは「悪化」が「好転」を上回っており、依然苦しいよう

減少、過剰感は強い。

一方金融は、「不变」とした企

業が長期で84.2%、「減少」

9.5%増えて34.7%、「減少」

1.2%減つて31.3%とな

り、「増加」が「減少」を3.4%

%上回った。

これぞ業種別みると、飲食料

品は好調で、医薬・化粧品が不況

であり、他は前期同様であった。

収益は「悪化」が前期より12.4%減少して31.3%と、好

転含みの推移を示した。

また、販売価格は「上昇」が、

△卸売業
取益が上昇傾向にあり、回復の兆しがみえる。

まず売上は「増加」が前期より13.9%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。

△小売業
依然格差あり
業界格差はあるものの、回復の兆しがみえる。

売上は「増加」が前期より11.9%と概ね順調であった。

資本繰りは「悪化」が「好転」を上回っており、依然苦しいよう

減少、過剰感は強い。

一方金融は、「不变」とした企

業が長期で84.2%、「減少」

9.5%増えて34.7%、「減少」

1.2%減つて31.3%とな

り、「増加」が「減少」を3.4%

%上回った。

これぞ業種別みると、飲食料

品は好調で、医薬・化粧品が不況

であり、他は前期同様であった。

収益は「悪化」が前期より12.4%減少して31.3%と、好

転含みの推移を示した。

また、販売価格は「上昇」が、

△卸売業
取益が上昇傾向にあり、回復の兆しがみえる。

まず売上は「増加」が前期より13.9%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。

△小売業
依然格差あり
業界格差はあるものの、回復の兆しがみえる。

売上は「増加」が前期より11.9%と概ね順調であった。

資本繰りは「悪化」が「好転」を上回っており、依然苦しいよう

減少、過剰感は強い。

一方金融は、「不变」とした企

業が長期で84.2%、「減少」

9.5%増えて34.7%、「減少」

1.2%減つて31.3%とな

り、「増加」が「減少」を3.4%

%上回った。

これぞ業種別みると、飲食料

品は好調で、医薬・化粧品が不況

であり、他は前期同様であった。

収益は「悪化」が前期より12.4%減少して31.3%と、好

転含みの推移を示した。

また、販売価格は「上昇」が、

△卸売業
取益が上昇傾向にあり、回復の兆しがみえる。

まず売上は「増加」が前期より13.9%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。

△小売業
依然格差あり
業界格差はあるものの、回復の兆しがみえる。

売上は「増加」が前期より11.9%と概ね順調であった。

資本繰りは「悪化」が「好転」を上回っており、依然苦しいよう

減少、過剰感は強い。

一方金融は、「不变」とした企

業が長期で84.2%、「減少」

9.5%増えて34.7%、「減少」

1.2%減つて31.3%とな

り、「増加」が「減少」を3.4%

%上回った。

これぞ業種別みると、飲食料

品は好調で、医薬・化粧品が不況

であり、他は前期同様であった。

収益は「悪化」が前期より12.4%減少して31.3%と、好

転含みの推移を示した。

また、販売価格は「上昇」が、

△卸売業
取益が上昇傾向にあり、回復の兆しがみえる。

まず売上は「増加」が前期より13.9%増加して31.7%、「減少」が前期より17.3%減少して29.4%で、「増加」が「減少」を2.3%上回っている。

△小売業
依然格差あり
業界格差はあるものの、回復の兆しがみえる。

売上は「増加」が前期より11.9%と概ね順調であった。

資本繰りは「悪化」が「好転」を上回っており、依然苦しいよう

減少、過剰感は強い。

一方金融は、「不变」とした企

業が長期で84.2%、「減少」

9.5%増えて34.7%、「減少」

1.2%

